

子どものおたふくかせ ワクチンの公費助成を

紀由紀子
(公明党)



妊娠初期の女性が感染すると赤ちゃんが難聴や白内障、心臓病などを伴う「先天性風疹症候群」の恐れがある。風疹の予防接種の周知啓発や無料の抗体検査を行わないか。

① 榎原村では、おたふくかせ(流行性耳下腺炎)の予防のため本年7月からワクチンの任意接種の公費助成を実施した。罹患して難聴になることもあり一生に

関わることもなる。(ア)公費助成を行わないか。(イ)医師会から話はあるか。(ウ)半額助成すると財源は300万円程度必要とのことだが行うべきである。

健康寿命延伸の鍵は「フレイル予防」

遠藤百合子
(自民党・信頼)



① フレイルとはストレスに対する回復力が低下した状態を表す。高齢者の男性7割、女性の9割がフレイルになる統計を見ると、早期の発見と対策が必要である。(ア)予防施策の現状とフレイル予防の重要なポイント

は、(イ)基本の食と口腔ケアの実践及びまちづくりの環境で、フレイル予防事業小金井モデルの創設を。

② 今後の小学校入学予定者増加が予想される。(ア)人口統計調査の将来予測は、(イ)学級数と学級人数のバランス等の年次計画は、(ウ)学区域再編成の考え方は、
学校教育部長 (ア)平成29年度から34年度までの児童数は19.6%増で26市中、増加率が第1位となる。(イ)教室が不足する場合、エアコン設置など教室として整備している。(ウ)児童増加への対応含め、学校教育部3課合同チームで対応する。

児童虐待の防止のために

湯沢綾子
(自民党・信頼)



① 目黒区で余りにも痛ましい虐待事件が起きた。児童相談所の虐待対応件数は年々増加し、人手不足が心配される中、市町村との役割分担も重要な課題である。市は要保護児童の情報共有や支援方法の検討を行う

要保護児童対策地域協議会(要対協)を設置している。要対協の現状と児童相談所との連携状況は、
子ども家庭部長 要対協では進行管理台帳を作成して定期的登録ケースの見直しを行っている。法改正により、地域による支援が適切な事例は児童相談所から市に送致することも可能

となった。東京都との共通ルールを見直していく。
② 乳幼児健診を未受診の子どもはリスクが高いと言われる。未受診者の所在や状況等を把握しているか。
福祉保健部長 保健師が電話や自宅訪問により確認している。必要に応じて子ども家庭支援センターに調査を依頼することもある。
③ 学校や教職員は虐待を発見しやすい環境にあるか。疑いを発見した場合の迅速な対応はとれているか。
学校教育部長 連絡なく欠席する児童生徒の状況把握に努め、あざがあったり食事をとっていないかたりする場合はすぐに保護・支援につなげている。

住宅での福祉サービス・医療の充実

斎藤康夫
(市民会議)



(ア)日本では、精神科入院患者の社会的入院数が多いと問題視されている。国や都の今後の意向はどうか。また、社会的入院患者を地域移行・定着させるための問題点は何か。(イ)要介護状態の方が地域で暮らし、医療・介護・予防・生活支援が一体的に受けることができる地域包括ケアシステムの準備状況は。(ウ)現在、0歳から2歳までの待機児童がまだ解消されていない。自宅での保育したい家庭に経済的援助を行い、解消すべきではないか。ある自治体では0歳児保育に月額40万円近く税負担をしていると

のデータがある。それ以内の額であれば補助金を交付して自宅保育をしていただき、待機児解消すべき。
福祉保健部長 (ア)国や都は、必ずしも入院を必要としない患者の地域移行を推進し、長期入院患者減少を目指している。各事業所の報酬額で苦勞があると思うが、国等がヒアリングを行い、決定しているので研究したい。(イ)団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途にシステム構築を目指している。
子ども家庭部長 (ウ)自治体としてどこまで対応できるか難しい。バランスを考慮して可能な範囲で対応したい。

かまどベンチ・訪問医療・子どもオンブズ

田頭祐子
(生活者ネット)



① 東京都の避難所運営の指針には、女性の視点に配慮したチェックシートがある。市のマニュアルは対応しているか。(イ)梶野公園では炊き出し訓練や焼き芋大会も出来るようにかまどベンチを増やさないか。
総務部長 (ア)女性や子ども、LGBTや異性介護者への配慮など、誰もが生活しやすい運営を参考に、市の運営マニュアルも見直す。

環境部長 (イ)今後の計画は地域安全課と協議し防災計画での位置づけが必要。
② (ア)在宅医療・介護の市民相談窓口はどこか。(イ)市内の在宅・訪問医療機関数

と高齢化や要介護の実態、在宅での看取りについて、市の現状分析と課題は。
福祉保健部長 (ア)市内4か所の地域包括支援センターである。(イ)在宅医療ができる先生方は少ない。必要数は未研究で、看取りの調査も行っていない。柏市は看取り数の目標値を持つなど立派であり、研究したい。
③ 不登校、いじめについて。子どもの権利侵害は無くなっていない。救済までの運営第三者機関とオンブズパーソンの必要性を問う。
教育長 全ての先生が全ての子どもに相談に応じることが大事。教師の聴く力、スキルアップに努める。

ケースワーカーを行政のトッパーランナーに

片山 薫
(市民力エール)



① (ア)小田原市を参考に生活保護のしおりの改善とHPでの掲載を。(イ)エアコン設置の周知と修理代を住宅維持費で。(ウ)担当ケースを1人80世帯以下に。女性、経験者、専門職の配置を。
(エ)利用者アンケート調査を。(オ)福祉総合相談は現庁舎から始めるべき。(カ)措置入院退院後の地域支援を。

福祉保健部長 (ア)合理的配慮の観点で協議する。HPは検討する。(イ)随時周知し、機会があれば都に相談したい。(ウ)現在は平均110世帯で、女性は一定措置している。経験豊富で資格ある職員が必要。(エ)アンケートは受け止める。(オ)内部で検討している。(カ)庁内で情報共有して協力している。
市長 生活保護は憲法に保障された大切なものである。利用者が新たな気付きを得る節目になる。
② (ア)いじめ防止条例は、当事者の意見反映、子ども権利条例に基づく制定を。子どもオンブズパーソンと連動して検討を。(イ)松本市子どもの権利条例について。
学校教育部長 (ア)子どもの権利条例と大きく関わる児童青少年課長 (イ)周知方法など参考にしたい。
■その他、「社会教育と公民館活動による住民自治を市の政策基本に」というテーマで質問しました。

市民常識に適合した庁舎・福祉会館建設に

渡辺大三
(情報公開)



庁舎・福祉会館建設について。(ア)広場・緑地面積を最大にできる配置案(B-2案などが参考となる)を採用すべき。形式的な説明会ではなく、全住民アンケート等の手法で市民の意向を確認すべき。民意に信を置いて物事を進めていくのが早道である。(イ)蛇の目ミシン工場跡地の大型樹木の保全について再度問う。その後、保全したいと考えるに至った樹木はあるのか。何もまともっていないのか。(ウ)清掃関連施設の敷地内暫定仮移設を避ける工夫を。4、5年のために1億6千万円という余計なお金は使

うべきでない。
市長 (ア)私の総合的判断でCree2を選択した。説明会を通じ理解を求め。総務部長 (イ)具体的方針は決定していない。現地を見て、魅力を認識した。
環境部長 (ウ)市としてCreer2で決定したので仮移転の準備を進めている。議員ご提案のものについては、やはりB-2かC-2は、やはりB-2かC-2しかないと思う。
■その他、「市長の選挙公約は緊急に40億円を生み出す人件費の削減だった。しかし、総額人件費が就任以来増えている。公約に反すると認めるか」について質問しましたが、市長から答弁はありませんでした。

介護保険サービスの在り方について問う

森戸洋子
(日本共産党)



① 国の施策は問題だが、高齢者が安心して在宅で過ごすため、医療と介護の連携体制が求められている。医師へのアンケート実施による課題把握と数値目標の設定、主治医・副主治医、後方支援体制の確立、夜間や24時間対応型訪問看護、介護体制の強化を求める。
福祉保健部長 在宅医療と介護の連携は、本市としての明確な方針が定まっていない。今後医師会の協力のもと、指摘された課題解決と具体的な体制作りを含め協議していきたい。
② 東町四丁目のスーパー街の活性化に資するもので、商店会とも意見交換したい。

学校、商店会に説明するよう要請してきた。(ア)市の見解は。(イ)東側の駐車場を借りるなど路上駐車場の防止対策を求める。(ウ)各商店でのミニ講座「まちゼミ」を実施するなど商店街の支援を強化しないか。
都市整備部長 (ア)要請を受け、新小金井駅や東小金井駅南口の商店会等に説明するよう連絡した。事業者も誠意を持って対応する旨の報告を受けている。また、小中学校にも説明するよう指導している。(イ)路上駐車禁止の注意喚起を行うと確認している。
市民部長 (ウ)提案は商店街の活性化に資するもので、商店会とも意見交換したい。